

第1回ひがしおおさか地方創生ラウンドテーブルまとめ (A班)

開催日時：2025年10月5日(日) 9:00～12:00

開催場所：東大阪市役所18階大会議室

出席者：委員20名

議題：

1. 東大阪市の取り組み説明(子ども・若者計画について)
2. 参加者自己紹介と意見交換
3. 次回案内、閉会

議事概要：

1. 東大阪市の取組説明(子ども・若者計画について)
 - ・ 市企画課より、現在策定中の「東大阪市子ども・若者計画」について説明。
 - ・ 計画の背景として「こども基本法」があり、東大阪市としては「子どもと若者」に焦点を当てた計画を策定中。
 - ・ 計画の体系として、「若者・子育て世代に選ばれるまちづくり」を大テーマに、「子ども・若者育成支援」と「少子化対策」の2つの柱がある。
 - ・ 具体的な8つのテーマ(①子ども・若者の権利尊重、②成長の後押し、③居場所づくり、④多様な社会への対応、⑤困難をかかえる当事者への支援、⑥大切な人との未来を創る、⑦未来へつなぐサポート、⑧次世代への投資を中心とした経済的支援)について紹介。
 - ・ 市の施策として、保育料や学校給食費の無償化など、目的を明確にした経済的支援に取り組んでいる。

2. 参加者自己紹介と意見交換

- ・ 各参加者より、自己紹介と「東大阪市は子どもや若者にとって住みやすいまちだと思うか」「何か感じていることを一言」というテーマのもとで発言していただいた。主な意見は以下の通り。

<交通・道路に関する課題>

- 「道がガタガタ」「白線が薄くて危険」といった意見が多数。特に自転車利用者が多く、危険を感じる場面があるとの指摘。
- 「南北の移動が不便」「バス路線が廃止され、地域住民が不便になるのでは」という懸念。特に近畿大学へのバス路線が直通のみになることへの不安がある。
- 「歩道が少ない、または狭い」ため、自転車と歩行者が混在し危険。

※大阪市内へのアクセスが良く、通勤・通学に便利など、交通の利便性についての行程

的な意見は多く出た。

<生活環境・治安に関する課題>

- 「夜道が暗い」など安全面での不安について複数の意見が出た。
- 地域内に同和問題で悩んでいる友人がいる（中学生）
※ 「愛ガード（登校時の見守り活動）が盛んでありがたい」「地域の祭りが活発」など、地域との繋がりが強いことへの満足度の高さについての意見が複数出た。

<娯楽・居場所に関する課題>

- 中高生が遊べる場所（商業施設、娯楽施設）が市内に少ないという意見が複数の学生から出された。「遊ぶときは難波や八尾のアリオに行く」「市内にいと暇になる」との声。
- 公立中学校の施設が古く、私立を選んだという高校生の意見。

<医療に関する課題>

- 「夜間に子どもが発熱した際、市内の救急病院に受け入れを断られることが多い」「難病の家族が専門外として受け入れてもらえず、遠方の病院まで行かなければならない」といった課題が指摘された。
- 「市内に信頼できる良い病院が少ない」と感じており、市外（日赤など）の病院を選ぶことが多いとの意見。

3. 次回の進め方

本日出された意見（特に道路、医療、若者の居場所）を元に、次回以降の議論を深めていく。（コーディネーター）

第1回ひがしおおさか地方創生ラウンドテーブルまとめ（B班）

開催日時：2025年10月5日（日）9:00～12:00

開催場所：東大阪市役所18階研修室

出席者：委員23名

議題：

1. 開会・コーディネーター紹介
2. 東大阪市の取り組み説明（子ども・若者計画について）
3. 参加者全員での自己紹介とグループ分け
4. グループワーク：テーマ「夢ってなんだろう？」
5. 閉会・次回案内

議事概要：

1. 開会・コーディネーター紹介

コーディネーターの林氏より挨拶。自身が代表を務めるNPOブリッジフォースマイルが児童養護施設出身の若者の自立支援を行っていることに触れ、本日のラウンドテーブルの目的と進行について説明があった。

2. 東大阪市の取り組み説明（子ども・若者計画について）

- ・ 市企画課より、現在策定中の「東大阪市子ども・若者計画」について説明。
- ・ 計画の背景として「こども基本法」があり、東大阪市としては「子どもと若者」に焦点を当てた計画を策定中。
- ・ 計画の体系として、「若者・子育て世代に選ばれるまちづくり」を大テーマに、「子ども・若者育成支援」と「少子化対策」の2つの柱がある。
- ・ 具体的な8つのテーマ（①子ども・若者の権利尊重、②成長の後押し、③居場所づくり、④多様な社会への対応、⑤困難をかかえる当事者への支援、⑥大切な人との未来を創る、⑦未来へつなぐサポート、⑧次世代への投資を中心とした経済的支援）について紹介。
- ・ 市の施策として、保育料や学校給食費の支援など、目的を明確にした経済的支援に取り組んでいる。

3. 参加者全員での自己紹介とグループ分け

各参加者より1分間の自己紹介を実施。自己紹介内容：①名前（ニックネーム）、②今の気持ち、③東大阪市の好きなおところ、④自分の「推し」。

4. グループワーク: テーマ「夢ってなんだろう？」

- 各グループで「夢とは何か」をテーマに議論し、内容を発表した。
- 各グループからの主な意見:
 - 夢には「大・中・小」の目標があり、日常の小さな目標から将来の大きな姿まで含まれる。
 - 「憧れ」「やりたいこと」であり、必ずしも職業だけではない。「世界平和」のような大きなものから、個人の「なりたい自分」まで様々。
 - 子どもが夢を持つためには、大人が自分の好きなこと、やりたいことを夢として持つことが一番大事ではないかという話があった。
 - 「将来やりたいこと」「目標の言い換え」といった意見が多かった。
 - 今の自分の年齢になった時に良い人生だったなと思ってほしいということが夢になっているという考え。
 - 夢の対象（職業、家族との旅行、バイクで遠出など）や、その対象が自分であるか家族であるかによっても変わるという話があった。
 - 「憧れ」「なりたいもの」「叶えていくもの」といった漠然としたイメージ。また、現代の子どもたちは、親や社会からの期待により「自由な夢を持ちにくい」のではないかという問題提起があった。

5. 閉会・次回案内

司会者より閉会の挨拶と、次回開催について案内があった。

- 次回日時: 10月26日(日) 9:00~
- 次回場所: 東大阪市役所 1階 多目的ホール
- 参加者へアンケート記入の依頼があった。